

2019年5月15日

各位

オリックス銀行株式会社

当期純利益は前期比7%増の171億円
10期連続で増益を達成、6期連続で過去最高益を更新
～2019年3月期決算～

オリックス銀行株式会社（本社：東京都港区、社長：浦田 晴之）の2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績は、主力の投資用不動産ローンを中心とした貸出金残高の伸長や広告宣伝費の抑制などにより、当期純利益は前期比7.0%増の171億円と過去最高益を更新しました。

経常収益は前期比4.9%増の551億円、業務粗利益は同7.5%増の388億円、実質業務純益は同12.0%増の238億円、経常利益は同11.2%増の252億円となり、いずれも過去最高額となりました。

詳細は、別添資料 [「決算概況」](#) および [「決算説明資料」](#) をご覧下さい。

■ 主な経営指標について

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
経常収益	525億円	551億円	26億円	4.9%
業務粗利益	361億円	388億円	27億円	7.5%
実質業務純益	212億円	238億円	25億円	12.0%
経常利益	226億円	252億円	25億円	11.2%
当期純利益	159億円	171億円	11億円	7.0%

	2018年3月末	2019年3月末	増減額	増減率
総資産	20,411億円	22,443億円	2,032億円	9.9%
純資産	1,704億円	1,880億円	176億円	10.3%
自己資本比率	10.9%	10.6%	—	—
リスク管理債権比率	0.30%	0.30%	—	—

	2018年3月末	2019年3月末	増減額	増減率
預金残高 (譲渡性預金を含む)	17,483 億円	19,169 億円	1,685 億円	9.6%
貸出金残高	16,757 億円	18,678 億円	1,920 億円	11.4%
信託財産残高	6,031 億円	6,159 億円	128 億円	2.1%

オリックス銀行は、今後も収益基盤の強化およびさらなる企業価値の向上に努め、お客さまに選ばれ続ける銀行を目指してまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

経営企画部広報チーム 船山・高橋・石井 TEL : 03-6722-3630